

日本語教室の七夕とスピーチ茶話会に参加しました 日本語上達の同じゴールを分かち合って

サトウ ルース (日本語教室部会)

第 19 回目の七夕とスピーチ茶話会が 2017 年 7 月 3 日、4 日、6 日に開催されました。私は 7 月 6 日(木)、昨年に続き 2 回目の参加でした。

会は織姫と彦星の七夕のお話で始まり、皆で七夕の歌を歌いました。

スピーチと願い事の発表は、ブラジル人学習者の自己紹介で始まり、フィリピン、ネパール、中国、バングラデシュ、ベトナム、ナイジェリア、ガーナなど全部で 12 人の学習者が私たちの生活、家族、夢、仕事などの話をしました。

皆さんが小さくカラフルな紙、短冊にそれぞれの願い事を書き、「願い事の木」である笹竹に吊るしました。

そして、文字順がごちゃ混ぜになったひらがなやカタカナの順序を入れ替えて、正しい単語にするゲームをしました。ボランティアの方々にサポートされながら解答をホワイトボードに書き、A チームの勝利でした。

最後に皆で記念撮影をして、締めくくりの



木曜日は夜の教室。外はまだ明るい。

言葉でイベントは終わりました。

新しい友だちに会え、ほとんどの人と日本語が上手になりたいという同じゴールを分かち合えてよかったです。

また来年の七夕とスピーチ茶話会を楽しみにしています。そして皆さんと同じく、七夕の日が晴れて、澄んだ空で恋人達が再開できることを願っています。

(注：ルースさんが英語で書かれた原文を広報青年部会喜多が訳しました)